

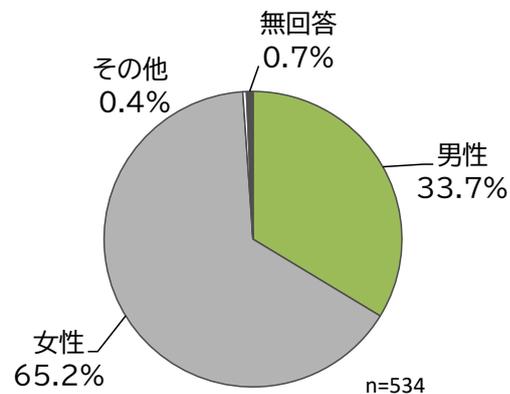
市民・事業所アンケート実施結果について

1 市民アンケート

回答者属性（回答数534）

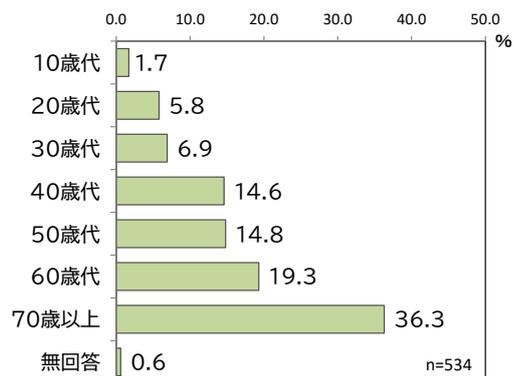
■性別

	度数	%
男性	180	33.7
女性	348	65.2
その他	2	0.4
無回答	4	0.7
合計	534	100.0



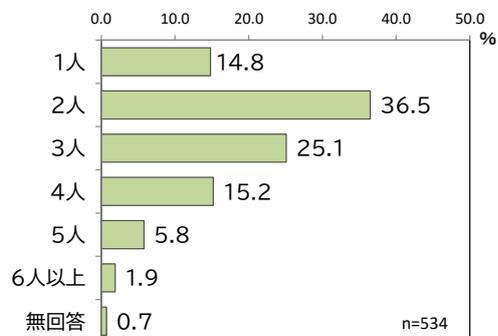
■年齢

	度数	%
10歳代	9	1.7
20歳代	31	5.8
30歳代	37	6.9
40歳代	78	14.6
50歳代	79	14.8
60歳代	103	19.3
70歳以上	194	36.3
無回答	3	0.6
合計	534	100.0



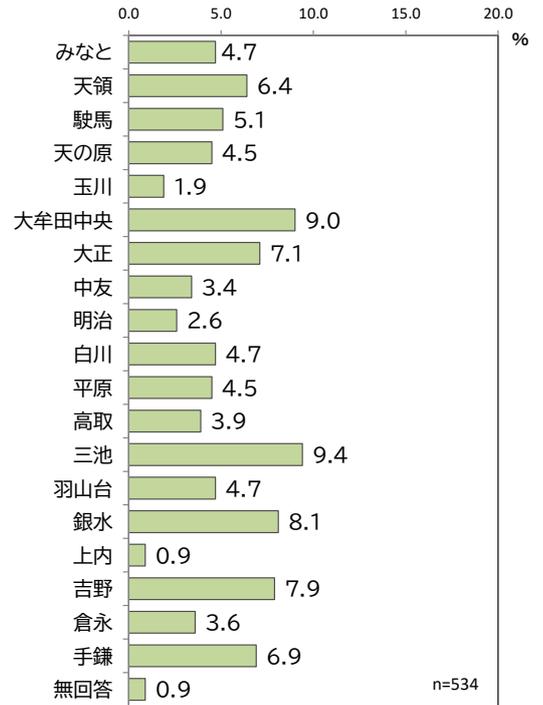
■同居世帯人員数

	度数	%
1人	79	14.8
2人	195	36.5
3人	134	25.1
4人	81	15.2
5人	31	5.8
6人以上	10	1.9
無回答	4	0.7
合計	534	100.0



■ 居住小学校区

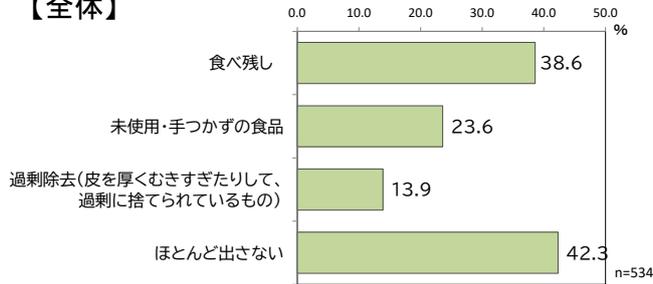
	度数	%
みなと	25	4.7
天領	34	6.4
駿馬	27	5.1
天の原	24	4.5
玉川	10	1.9
大牟田中央	48	9.0
大正	38	7.1
中友	18	3.4
明治	14	2.6
白川	25	4.7
平原	24	4.5
高取	21	3.9
三池	50	9.4
羽山台	25	4.7
銀水	43	8.1
上内	5	0.9
吉野	42	7.9
倉永	19	3.6
手鎌	37	6.9
無回答	5	0.9
合計	534	100.0



食品ロスの削減について

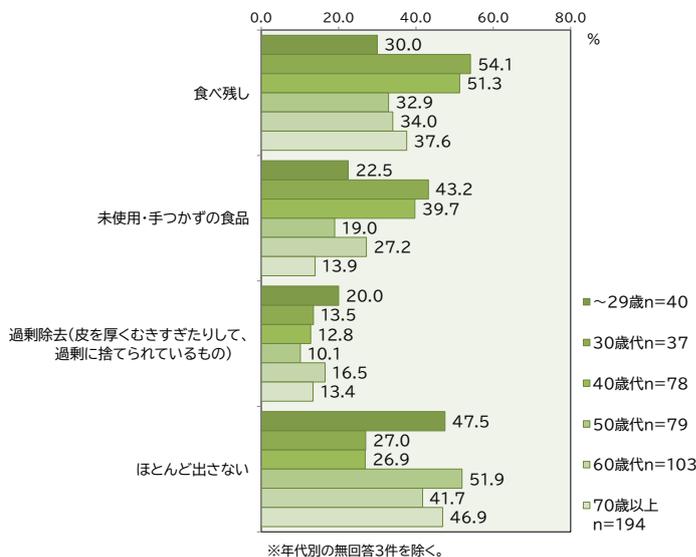
設問 1 あなたの家庭で出すことのある「食品ロス」は何ですか。(複数可)

【全体】



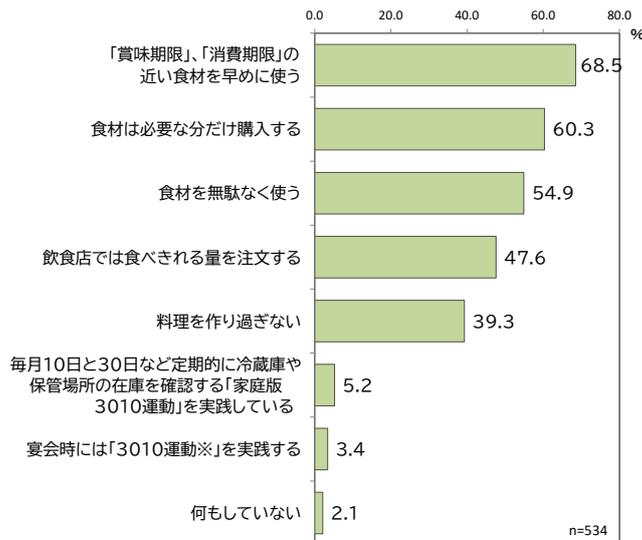
◆約6割の家庭では、食品ロスを出しており、その中でも「食べ残し」が一番多くなっている。

【年代別】



	合計	食べ残し	未使用・手つかずの食品	過剰除去(皮を厚くむきすぎたりして、過剰に捨てられているもの)	ほとんど出さない
全体	534	206 (38.6%)	126 (23.6%)	74 (13.9%)	226 (42.3%)
年代別	～29歳	40 (12.3%)	9 (22.5%)	8 (20.0%)	19 (47.5%)
	30歳代	37 (6.9%)	12 (32.9%)	5 (13.5%)	10 (27.2%)
	40歳代	78 (14.6%)	20 (25.8%)	31 (39.7%)	10 (12.8%)
	50歳代	79 (14.8%)	15 (19.0%)	8 (10.1%)	41 (51.9%)
	60歳代	103 (19.3%)	20 (20.0%)	28 (27.2%)	17 (16.5%)
	70歳以上	194 (36.3%)	26 (13.4%)	27 (13.9%)	26 (13.4%)
	無回答	3 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

設問2 食品ロスを出さないために普段から行っていることは何ですか。(複数可)



◆約7割の家庭では、食品ロスを出さないようにするため、食材を無駄にしないように工夫しているが、「料理を作り過ぎない」「飲食店では食べきれぬ量を注文する」など料理を残さない工夫については、4割程度と低くなっている。

【設問1 家庭で出す食品ロス別にみた設問2 食品ロスを出さないために行っていること】

設問1食品ロス	合計	食材は必要な分だけ購入する		近い「賞味期限」、「消費期限」の食材を早めに使う		料理を作り過ぎない		食材を無駄なく使う		飲食店では食べきれぬ量を注文する		宴会時には「3010運動※」を実践する		を認める「家庭版3010運動」を実践している		に冷蔵庫や保管場所の在庫を定期的に確認する		毎月10日と30日など定期的に確認する		何もしていない			
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合		
合計	534	322	60.3%	366	68.5%	210	39.3%	293	54.9%	254	47.6%	18	3.4%	28	5.2%	11	2.1%						
食べ残し	206	121	58.7%	155	75.2%	75	36.4%	97	47.1%	102	49.5%	6	2.9%	10	4.9%	4	1.9%						
		未使用・手つかずの食品	126	66	52.4%	101	80.2%	43	34.1%	54	42.9%	70	55.6%	8	6.3%	8	6.3%	2	1.6%				
		過剰除去(皮を厚くむきすぎたりして、過剰に捨てられているもの)	74	43	58.1%	61	82.4%	24	32.4%	38	51.4%	42	56.8%	5	6.8%	6	8.1%	1	1.4%				
		ほとんど出さない	226	145	64.2%	133	58.8%	99	43.8%	146	64.6%	101	44.7%	5	2.2%	10	4.4%	6	2.7%				

◆食品ロスを減らすために効果的な行動は、「賞味期限」、「消費期限」の近い食材を早めに使う」「食材は必要な分だけ購入する」「食材を無駄なく使う」などのように食材を無駄なく使用する工夫が効果的と考えている。

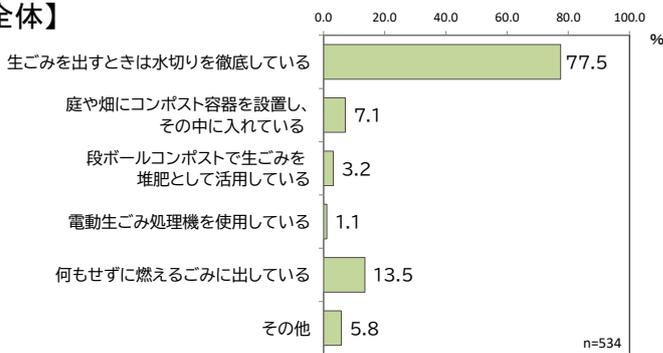
設問3 設問2の1.～7.以外の取組みで、食品ロスを削減するために効果的なものがあれば下記へご記入ください。

主な意見
余った食材や料理をご近所等へ配る
買いすぎたものなどはフードバンクなどに寄付する
レシピサイトを利用して、無駄なくおいしい材料を使い切る
冷凍保存で使い切るよう努める
野菜の皮など庭先に埋めている
毎日の弁当に昨日の残りの食材を入れる
皮も可能な限り食べる

生ごみの減量について

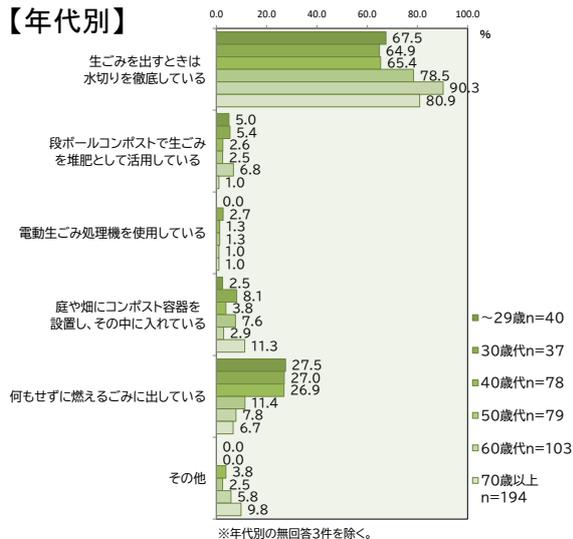
設問4 あなたの家庭では、生ごみを減らすためにどのような工夫をしていますか。（複数可）

【全体】



◆約8割の家庭では、生ごみを減らすために、「水切りを徹底している」と回答しているが、約1割の家庭では、「何もせずに燃えるごみに出している」と回答している。

【年代別】

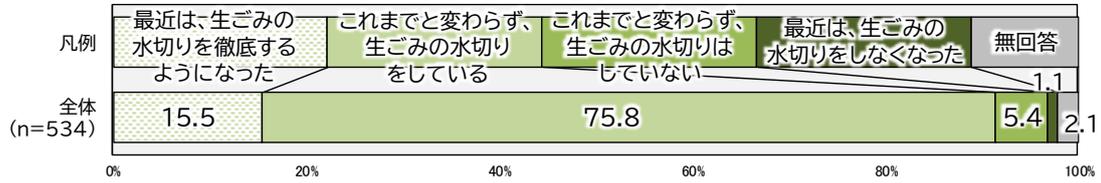


※年代別の無回答3件を除く。

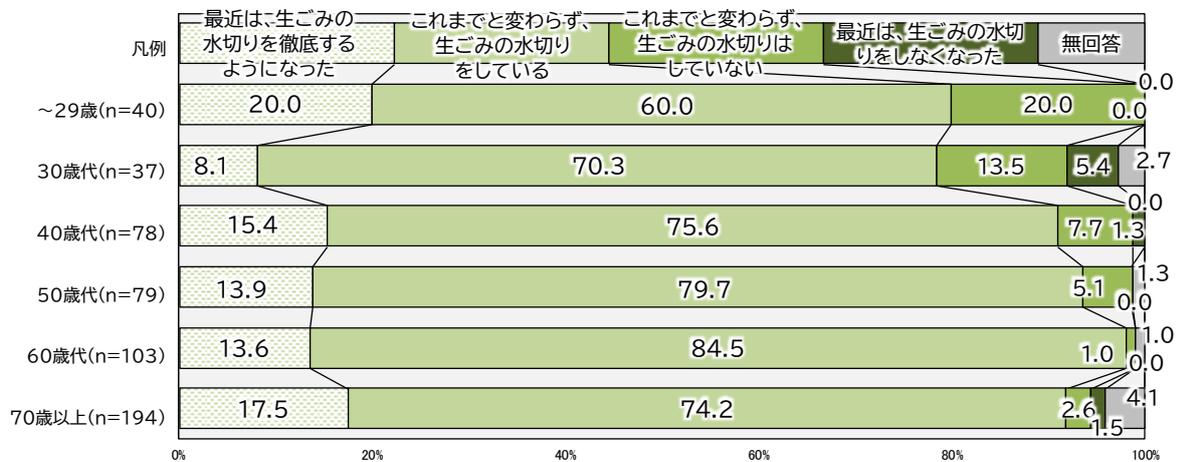
	合計	水切りを徹底している	庭や畑にコンポスト容器を設置し、その中に入れている	段ボールコンポストで生ごみを堆肥として活用している	電動生ごみ処理機を使用している	中に入れて設置しているコンポスト	何もせずに燃えるごみに出している	その他
全体	534	414	17	6	38	72	31	
~29歳	40	27	2	0	1	11	0	
30歳代	37	24	2	1	3	10	0	
40歳代	78	51	2	1	3	21	3	
50歳代	79	62	2	1	6	9	2	
60歳代	103	93	7	1	3	8	6	
70歳以上	194	157	2	2	22	13	19	
無回答	3	0	0	0	0	0	1	

設問5 生ごみの8割から9割は水分といわれており、令和元年度に計画を策定して以降、講座やイベント時など様々な機会を通して、市民の皆さんへ生ごみの水切りをお願いしてきました。あなたの家庭では、生ごみを出すときに水切りをするようになりましたか。

【全体】

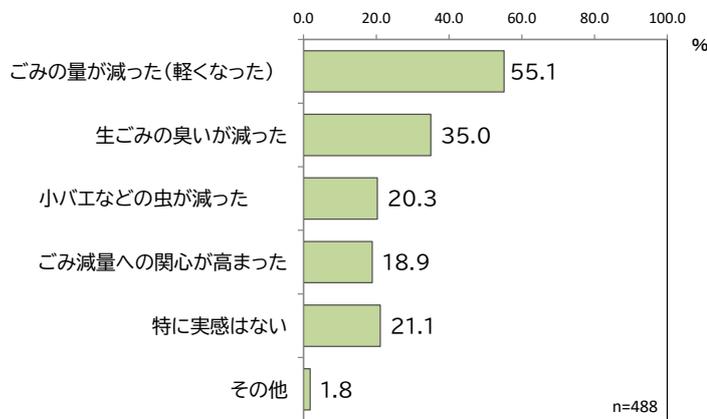


【年代別】



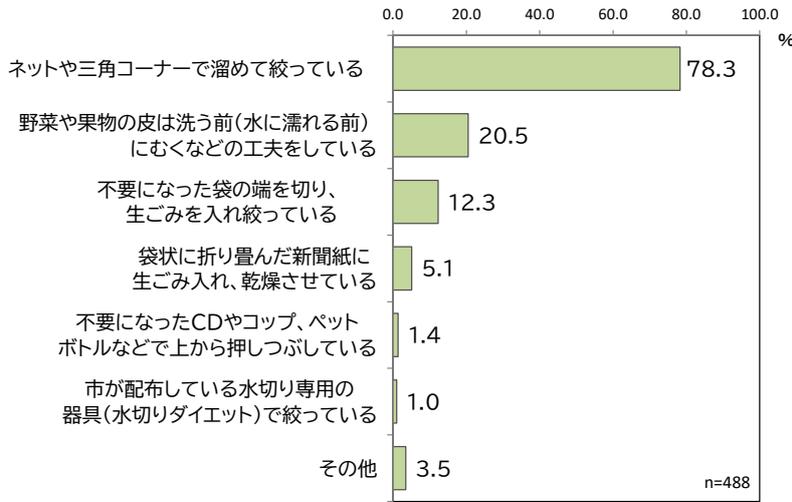
◆約2割の家庭では、「最近、生ごみの水切りを徹底するようになった」と回答している。

設問6 設問5の1、2を選択した方へおたずねします。生ごみの水切りをすることで実感したこと（効果）は何ですか。（複数可）



◆約5割の家庭では、「ごみの量が減った(軽くなった)」と回答している。

設問7 設問5の1、2を選択した方へおたずねします。
 あなたの家庭での、生ごみの水切り方法を教えてください。（複数可）



◆約8割の家庭では、「ネットや三角コーナーで溜めて絞っている」と回答している。

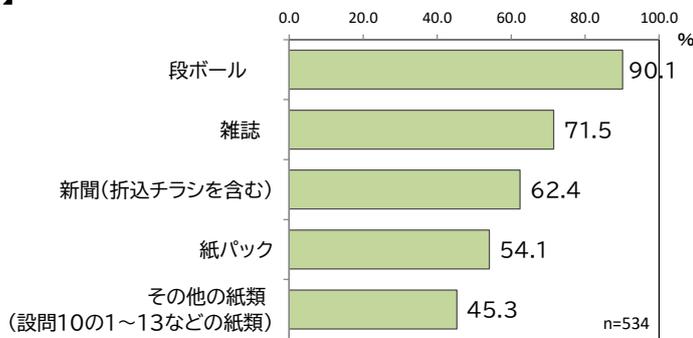
設問8 設問5の3、4を選択した方へおたずねします。
 生ごみの水切りをしていない（しなくなった）理由を教えてください。

主な意見
面倒だから水切りをしていない
生ごみをあまり触りたくないから
水切りにより生ごみの量を減らすことができるということへの意識が低かったと思う
ディスポーザーで生ごみの大半は処理している

紙類のリサイクルの徹底について

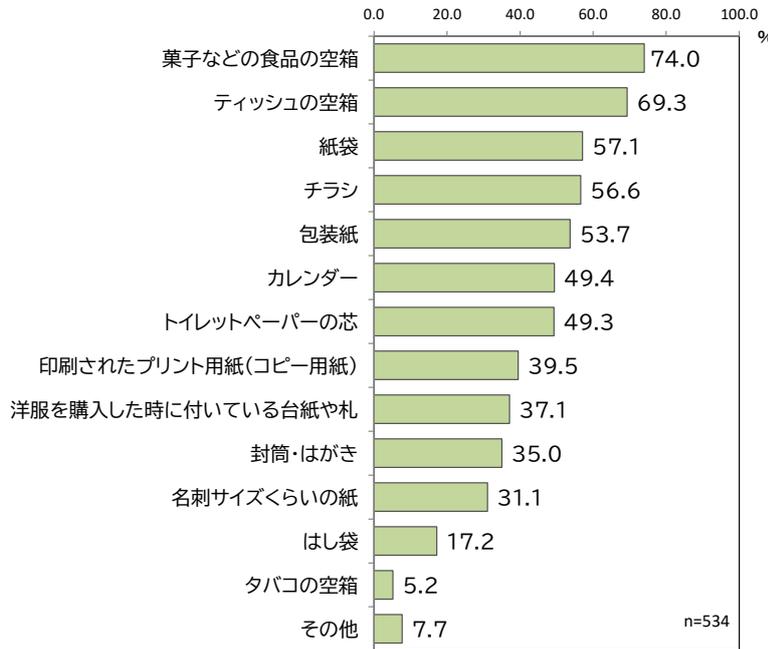
設問9 あなたの家庭でリサイクルに出している紙類を教えてください。（複数可）

【全体】



◆分別がわかりやすい「新聞（折込チラシ含む）」「雑誌」「段ボール」については、6割を超える家庭がリサイクルに出しているが、「その他の紙類」については、リサイクルに出している家庭が5割を下回っている。

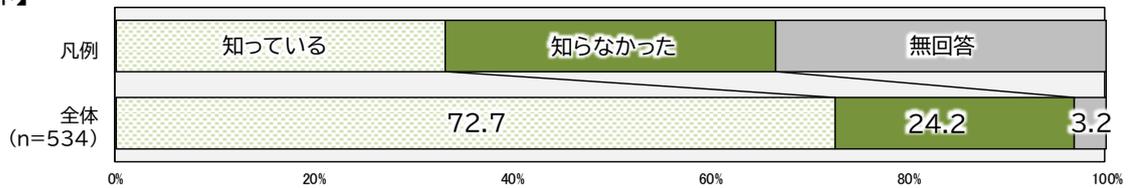
設問 10 あなたの家庭では、どのような紙を「その他の紙類（新聞紙、段ボール、雑誌、紙パック以外の紙）」としてリサイクルに出していますか。（複数可）



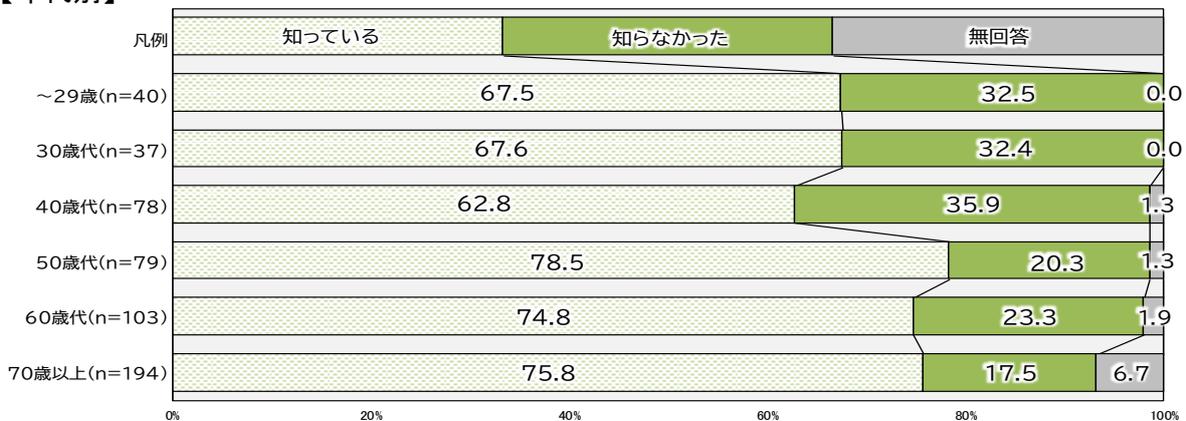
◆その他の紙類の対象となる「菓子などの食品の空箱」「ティッシュの空箱」「紙袋」「チラシ」「包装紙」などの比較的に大きいものについては、5割を超える家庭がリサイクルに出している。それ以外の品目については、5割に満たないものがほとんどである。

設問 11 その他の紙類をリサイクルに出す場合は、「紙袋」に入れたり、「カレンダー」などの大きめの紙にまとめて出すことができます。このような「その他の紙類の出し方」についてご存じですか。

【全体】



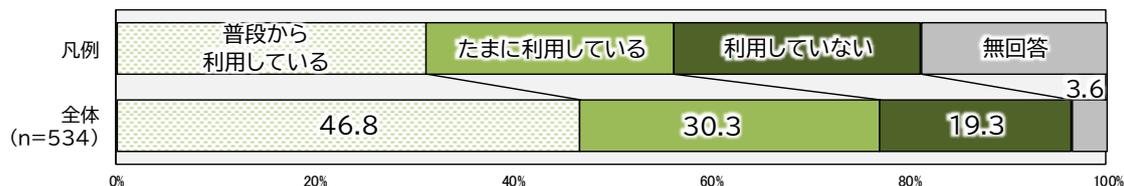
【年代別】



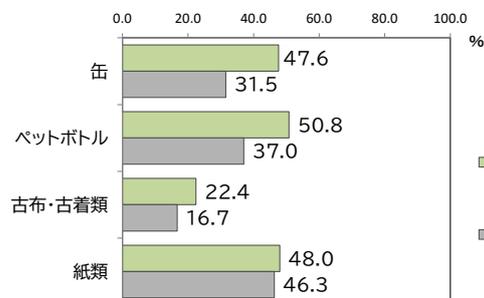
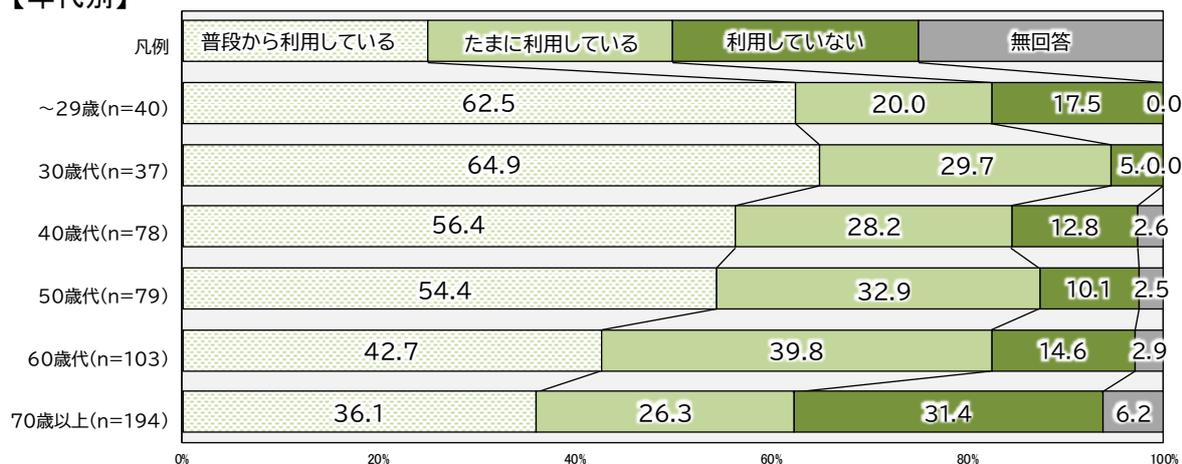
◆約2割の家庭では、「紙袋」に入れたり、「カレンダー」などの大きめの紙にまとめて出すことができることを「知らなかった」と回答している。

設問 12 市内には、民間の事業者が開設しているリサイクル品目を出す場所がありますが、利用されていますか。利用されている場合、品目にも「○」をお願いします。

【全体】



【年代別】

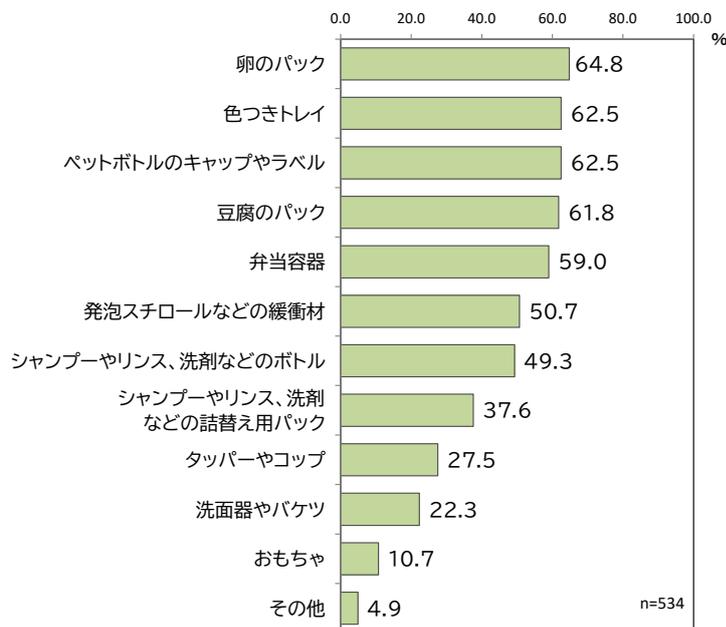


	普段から利用している人が出す品目 n=250	たまに利用している人が出す品目 n=162
缶	47.6	31.5
ペットボトル	50.8	37.0
古布・古着類	22.4	16.7
紙類	48.0	46.3

◆約8割の家庭では、民間の事業者が開設しているリサイクル品目を出す場所へ「普段から利用している」「たまに利用している」と回答している。

リサイクル品目の拡充について

設問 13 あなたの家庭では、リサイクルに出している「その他のプラスチック」は何ですか。次の中から選んでください。（複数可）

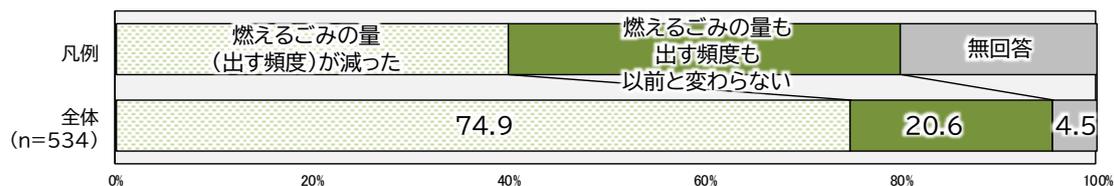


◆ 6割を超える家庭では、「卵のパック」「色付きトレイ」「ペットボトルのキャップやラベル」「豆腐のパック」などのプラスチック製容器包装をリサイクルに出しているが、「タッパーやコップ」「洗面器やバケツ」「おもちゃ」などの製品プラスチックをリサイクルに出している家庭は、3割を下回っている。

設問 14 あなたにとって設問 13 の選択肢以外のもので、リサイクルに出せたらいいと思う「その他のプラスチック」がありましたら理由も含め、下記の表に記入してください。

主な意見
洗濯ハサミやハンガーなど少量の金属が付いているもの
ごみ袋に入らない衣装ケースや大きいおもちゃ
インクカートリッジ
芳香剤、消毒液などの容器

設問 15 「その他のプラスチック」の分別収集が始まり、あなたの家庭では燃えるごみの量（出す頻度も）は減りましたか。

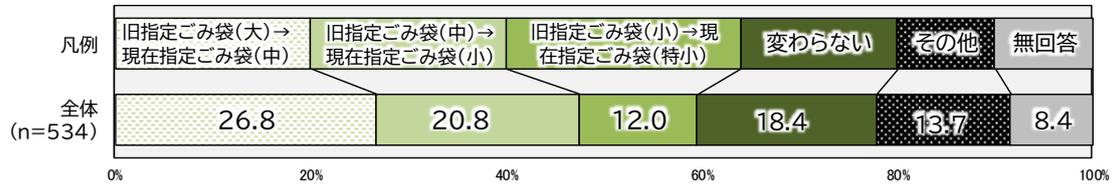


◆ 約 8 割の家庭では、「燃えるごみの量（出す頻度）が減った」と回答している。

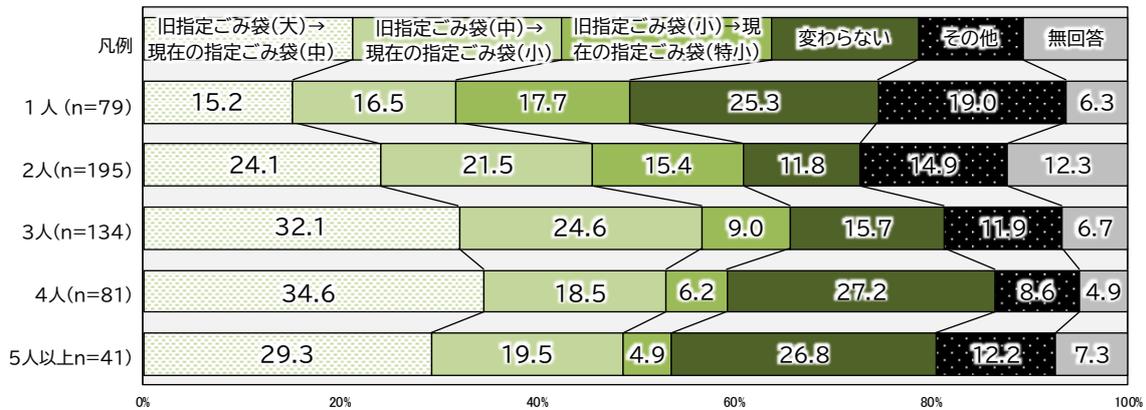
ごみダイエットの推進

設問 16 プラスチック製容器包装の分別収集の開始や、令和4年7月からの新しい有料指定ごみ袋になってから、燃えるごみを出す時に使用するごみ袋のサイズはどのように変わりましたか。

【全体】

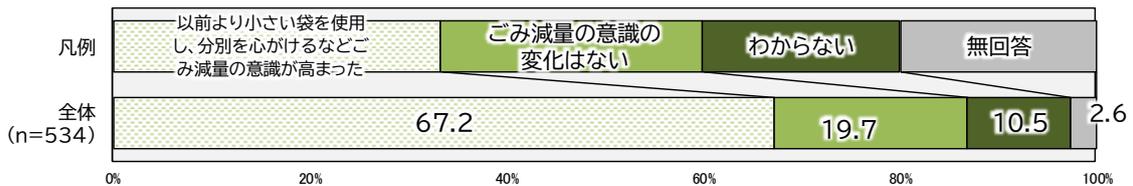


【世帯人数別】



◆約6割の家庭では、燃えるごみを出す時に使用するごみ袋のサイズは小さくなったと回答している。

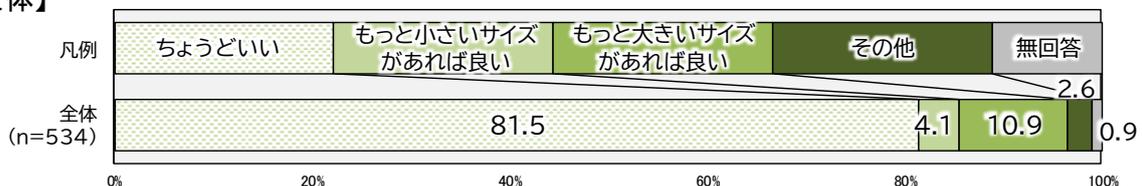
設問 17 有料指定ごみ袋のサイズと価格の見直しを行ったことで、ごみの出し方について意識の変化はありましたか。



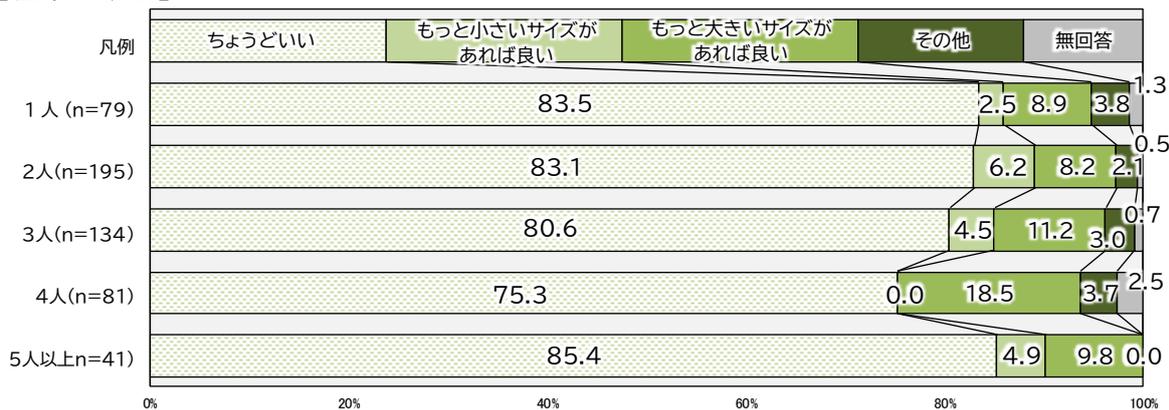
◆約7割の家庭では、「以前より小さい袋を使用し、分別を心がけるなどごみの減量の意識が高まった」と回答している。

設問 18 有料指定ごみ袋についておたずねします。
有料指定ごみ袋のサイズ（4種類：大・中・小・特小）はどうですか。

【全体】

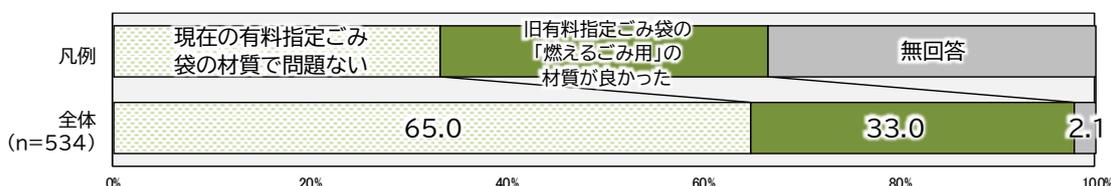


【世帯人数別】



◆約8割の家庭では、有料指定ごみ袋のサイズについて「ちょうどいい」と回答している。

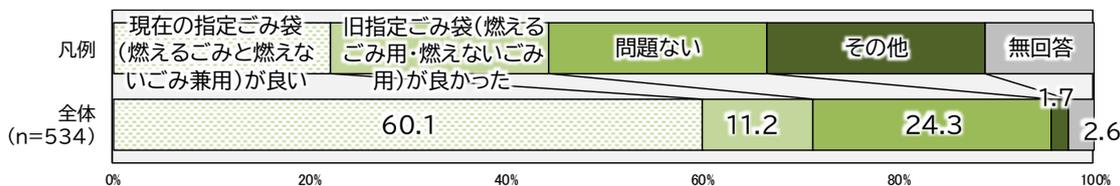
設問 19 有料指定ごみ袋の材質についておたずねします。



◆約6割の家庭では、有料指定ごみ袋の材質について「現在の有料指定ごみ袋の材質で問題ない」と回答している。

設問 20 有料指定ごみ袋を見直し、「燃えるごみ」と「燃えないごみ」にも使用できる兼用のごみ袋としました。

「燃えるごみ用」、「燃えないごみ用」とそれぞれの専用のごみ袋となっていた旧有料指定ごみ袋の時と比べて、使いやすさはどうですか。



◆約6割の家庭では、「燃えるごみ用」、「燃えないごみ用」とそれぞれの専用のごみ袋となっていた旧有料指定ごみ袋の時と比べて、「現在の指定ごみ袋（燃えるごみともえないごみ兼用）が良い」と回答している。

その他

設問 21 ごみ全般に関して、ご要望やご意見等ありましたら、記入してください。

主な意見
リサイクルも燃えるごみ、燃えないごみ同様に自宅前に取りに来てほしい
いつでも持ち込みができる市のリサイクルステーションを開設してほしい
リサイクル当番ではリサイクル容器の設置やシート掛けを行っているが簡素化出来ないか
その他のプラスチックは週に1回燃えるごみを排出する場所で回収してもらえると助かる
燃えるごみ、燃えないごみも休日に施設に搬入できるようにしてほしい

新しい有料指定ごみ袋は破れやすい

近所でカラスなどにごみを荒らされ、道路に散乱して困っている

資源ゴミの分別は意識高めで頑張っており、燃やすゴミ回収の日に特小の袋で出すことを目標にしてきた

ごみの減量に協力したい気持ちはあるので、わかりやすく分別と出し方について伝えていただけるとありがたい。

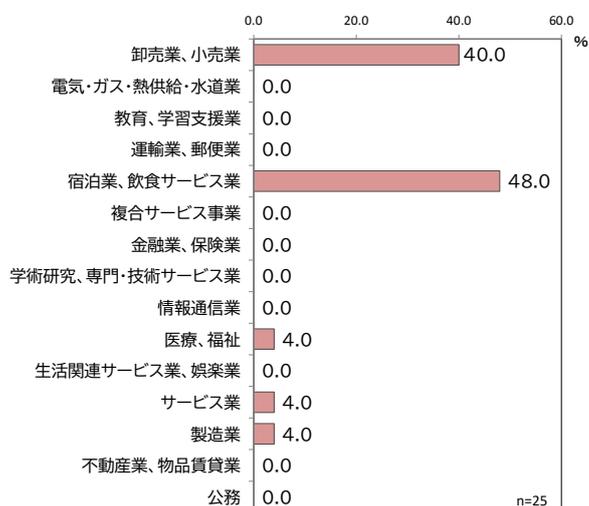
2 事業所アンケート

生ごみを排出する事業所

回答者属性（回答数25）

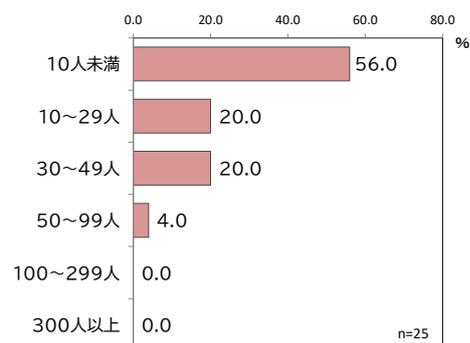
■ 業種

n=25	度数	%
卸売業、小売業	10	40.0
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0
教育、学習支援業	0	0.0
運輸業、郵便業	0	0.0
宿泊業、飲食サービス業	12	48.0
複合サービス事業	0	0.0
金融業、保険業	0	0.0
学術研究、専門・技術サービス業	0	0.0
情報通信業	0	0.0
医療、福祉	1	4.0
生活関連サービス業、娯楽業	0	0.0
サービス業	1	4.0
製造業	1	4.0
不動産業、物品賃貸業	0	0.0
公務	0	0.0
合計	25	100.0



■ 従業員数

n=25	度数	%
10人未満	14	56.0
10~29人	5	20.0
30~49人	5	20.0
50~99人	1	4.0
100~299人	0	0.0
300人以上	0	0.0
合計	25	100.0

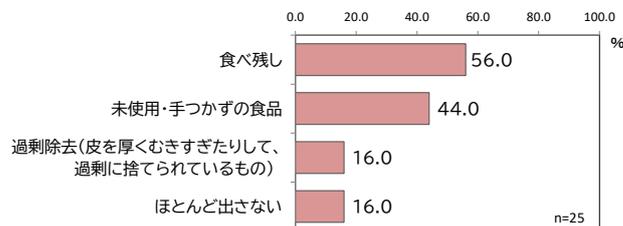


食品ロスの削減について

設問1 あなたの事業所から出すことのある「食品ロス」は何ですか。(複数可)

【全体】

n=25	度数	%
食べ残し	14	56.0
未使用・手つかずの食品	11	44.0
過剰除去(皮を厚くむきすぎたりして、過剰に捨てられているもの)	4	16.0
ほとんど出さない	4	16.0



【業種別】

業種別	合計	食品ロスの種類			
		食べ残し	未使用・手つかずの食品	過剰除去(皮を厚くむきすぎたりして、過剰に捨てられているもの)	ほとんど出さない
全体	25	14 (56.0%)	11 (44.0%)	4 (16.0%)	4 (16.0%)
業種別	卸売業、小売業	3 (30.0%)	8 (80.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)
	宿泊業、飲食サービス業	10 (83.3%)	2 (16.7%)	2 (16.7%)	2 (16.7%)
	医療、福祉	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	サービス業	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
	製造業	0 (0.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)

◆生ごみを排出する事業所のうち、約8割の事業所で食ロスを出しており、その中でも「食べ残し」が一番多い。

設問2 あなたの事業所で食品ロスを出さないために普段から行っていることは何ですか。(複数可)

(複数可)

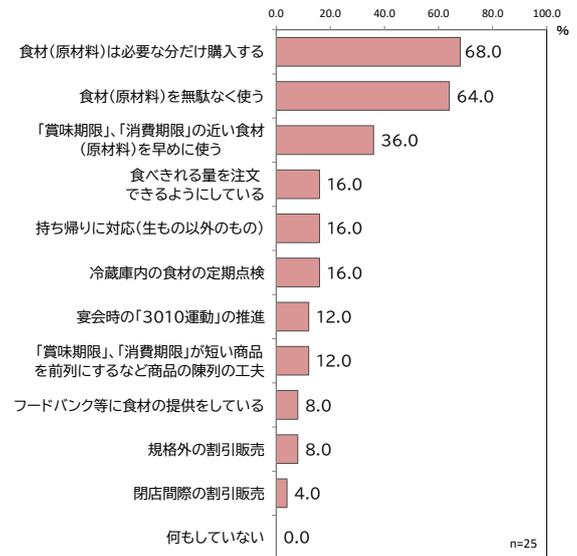
n=25	度数	%
食材(原材料)は必要な分だけ購入する	16	64.0
「賞味期限」、「消費期限」の近い食材(原材料)を早めに使う	15	60.0
食材(原材料)を無駄なく使う	15	60.0
食べきれぬ量を注文できるようにしている	5	20.0
宴会時の「3010運動」の推進	1	4.0
持ち帰りに対応(生もの以外のもの)	7	28.0
冷蔵庫内の食材の定期点検	13	52.0
フードバンク等に食材の提供をしている	2	8.0
閉店間際の割引販売	5	20.0
「賞味期限」、「消費期限」が短い商品を前列にするなど商品の陳列の工夫	6	24.0
規格外の割引販売	3	12.0
何もしていない	0	0.0



◆食品ロスは「食べ残し」が一番多いという回答になっている一方で、「食べ残し」対策となる「持ち帰りに対応(生もの以外のもの)」「食べきれぬ量を注文できるようにしている」「宴会時の「3010」運動の推進」をしていると回答した事業所が少ない。

設問3 食品ロスを削減するためには、ということが効果的と考えられますか。設問2の選択肢から3つ選び、下記の口に記入してください。設問2で「12 何もしていない」を選んだ方もご記入ください。

n=25	度数	%
食材(原材料)は必要な分だけ購入する	17	68.0
「賞味期限」、「消費期限」の近い食材(原材料)を早めに使う	9	36.0
食材(原材料)を無駄なく使う	16	64.0
食べきれぬ量を注文できているようにしている	4	16.0
宴会時の「3010運動」の推進	3	12.0
持ち帰りに対応(生もの以外のもの)	4	16.0
冷蔵庫内の食材の定期点検	4	16.0
フードバンク等に食材の提供をしている	2	8.0
閉店間際の割引販売	1	4.0
「賞味期限」、「消費期限」が短い商品を前列にするなど商品の陳列の工夫	3	12.0
規格外の割引販売	2	8.0
何もしていない	0	0.0



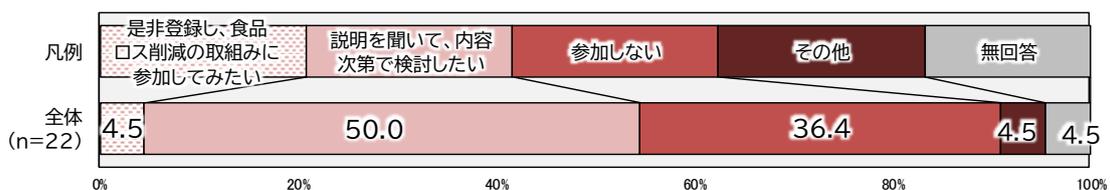
◆生ごみを排出する事業所では、食品ロスを削減するため、「食材(原材料)は必要な分だけ購入する」「食材(原材料)を無駄なく使う」ことが効果的と考えている。

設問4 「卸売業、小売業」「宿泊業、飲食サービス業」の事業所の方におたずねします。3010運動や少量メニュー等の食品ロス削減に取り組む事業者に、福岡県事業の「食べ物余らせん隊」への登録を促進し、登録事業所や取組みを県・市のホームページにおいて紹介することとしています。また、登録店へ、のぼり旗やコースターなどの啓発グッズを配布するなど、食品ロスを削減する活動の機運を高める取組みを行うこととしています。貴事業所において、この取組みに参加してみたいと思いますか。

【全体】

n=22	度数	%
是非登録し、食品ロス削減の取組みに参加してみたい	1	4.5
説明を聞いて、内容次第で検討したい	11	50.0
参加しない	8	36.4
その他	1	4.5
無回答	1	4.5
合計	22	100.0

◆生ごみを排出する事業所の約5割は、「食べ物余らせん隊」への登録に関心がある。



【業種別】

	合計	み組み品是非 たみにス登録し、 加減し、 取	説明 内容を 第1次 で検 討、	参 加 し な い	そ の 他	無 回 答
全体	22	1 4.5%	11 50.0%	8 36.4%	1 4.5%	1 4.5%
業 種 別						
卸売業、小売業	10	0 0.0%	6 60.0%	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%
宿泊業、飲食サービス業	12	1 8.3%	5 41.7%	6 50.0%	0 0.0%	0 0.0%

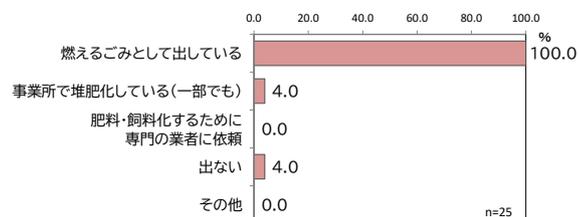
設問5 設問2以外で、食品ロスを削減するために事業所で取り組んでいる事例などがあれば、下記へご記入ください。

主な意見
食べ残しがないようにメニューを考えている
売れ残った商品は、自宅、従業員などや子ども食堂に提供している
生ごみの水分を減らしている
幹事へ3010運動に協力を求めている
賞味期限の近い商品を「POP」等で掲示しながら割引して販売している

生ごみの減量について

設問6 あなたの事業所では、生ごみをどのように処理していますか。(複数可)

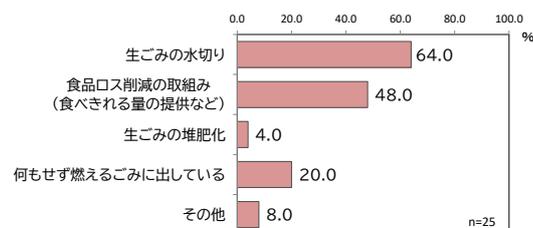
n=25	度数	%
燃えるごみとして出している	25	100.0
事業所で堆肥化している(一部でも)	1	4.0
肥料・飼料化するために専門の業者に依頼	0	0.0
出ない	1	4.0
その他	0	0.0



◆生ごみを排出する全ての事業所では、生ごみを「燃えるごみ」として処理している。

設問7 あなたの事業所では、生ごみを減らすためにどのような工夫をしていますか。(複数可)

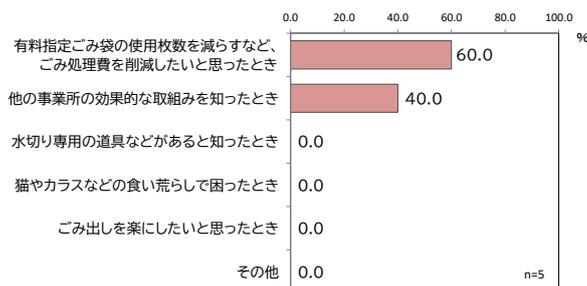
n=25	度数	%
生ごみの水切り	16	64.0
生ごみの堆肥化	1	4.0
食品ロス削減の取組み(食べきれる量の提供など)	12	48.0
何もせず燃えるごみに出している	5	20.0
その他	2	8.0



◆6割を超える事業所で「生ごみの水切り」を行っている一方で、「何もせず燃えるごみに出している」と回答した事業所もある。

設問 8 設問 7 で「4. 何もせず燃えるごみに出している」を選んだ方におたずねします。生ごみの水切りや堆肥化など、あなたの事業所が生ごみの減量に取り組むとしたらどのようなことがきっかけになると思いますか。(複数可)

n=5	度数	%
有料指定ごみ袋の使用枚数を減らすなど、ごみ処理費を削減したいと思ったとき	3	60.0
水切り専用の道具などがあると知ったとき	0	0.0
猫やカラスなどの食い荒らしで困ったとき	0	0.0
ごみ出しを楽にしたいと思ったとき	0	0.0
他の事業所の効果的な取組みを知ったとき	2	40.0
その他	0	0.0



◆「何もせず燃えるごみに出している」と回答した事業所の6割の事業所は「有料指定ごみ袋の使用枚数を減らすなど、ごみ処理費を削減したいと思ったとき」に、生ごみの水切りや堆肥化に取り組むと回答している。

ごみダイエットの推進

設問 9 「燃えるごみを週3回以上出されている事業所の方」におたずねします。
1週間に「燃えるごみ」専用の指定袋を何枚使用していますか。

n=13	度数	%
2枚	1	7.7
6枚	1	7.7
9枚	1	7.7
10枚	1	7.7
12枚	2	15.4
15枚	1	7.7
20枚	1	7.7
25枚	1	7.7
28枚	1	7.7
30枚	1	7.7
50枚	1	7.7
70枚	1	7.7
合計	13	100.0

設問9 週3回以上出している事業所の1週間に使用する「燃えるごみ」専用の指定袋の枚数	
回答数	13
最小値	2
最大値	70
平均値	22.23

※無回答を除いて集計

◆生ごみを排出する事業所で「燃えるごみを週3回以上出している事業所」では、「燃えるごみ」専用の指定袋を最大70袋使用している。

設問 10 「燃えるごみを週2回出されている事業所の方」にたずねします。
1週間に「燃えるごみ」専用の指定袋を何枚使用していますか。

n=8	度数	%
2枚	2	25.0
3枚	1	12.5
5枚	1	12.5
7枚	3	37.5
8枚	1	12.5
合計	8	100.0

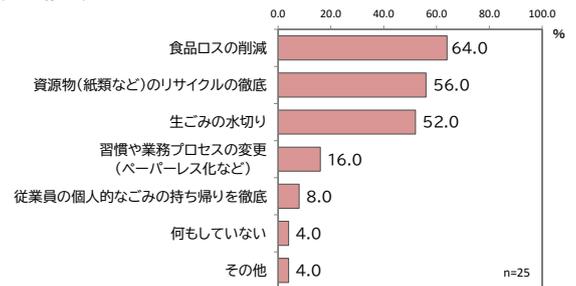
設問10 週2回出している事業所の1週間に使用する「燃えるごみ」専用の指定袋の枚数	
回答数	8
最小値	2
最大値	8
平均値	5.13

※無回答を除いて集計

◆生ごみを排出する事業所で「燃えるごみを週2回出している事業所」では、「燃えるごみ」専用の指定袋を最大8袋使用している。

設問 11 あなたの事業所では、ごみを減らすこと又は有料指定ごみ袋の使用枚数を少なくするために、どのようなことを実施していますか。（複数可）

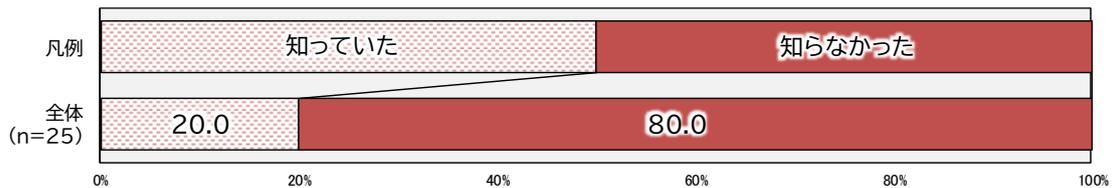
n=25	度数	%
資源物（紙類など）のリサイクルの徹底	14	56.0
食品ロスの削減	16	64.0
生ごみの水切り	13	52.0
従業員の個人的なごみの持ち帰りを徹底	2	8.0
習慣や業務プロセスの変更（ペーパーレス化など）	4	16.0
何もしていない	1	4.0
その他	1	4.0



◆生ごみを排出する事業所では、ごみを減らすこと又は有料指定ごみ袋の使用枚数を少なくするため、「食品ロスの削減」「資源物（紙類など）のリサイクルの徹底」「生ごみの水切り」に取り組んでいるが、「何もしていない」と回答した事業所もある。

設問 12 大牟田市では、生ごみ堆肥化機材等（電動生ごみ処理機や設置型コンポスト容器など）を購入する市民及び市内の事業者へ補助金を交付する事業を実施していますが、ご存じですか。

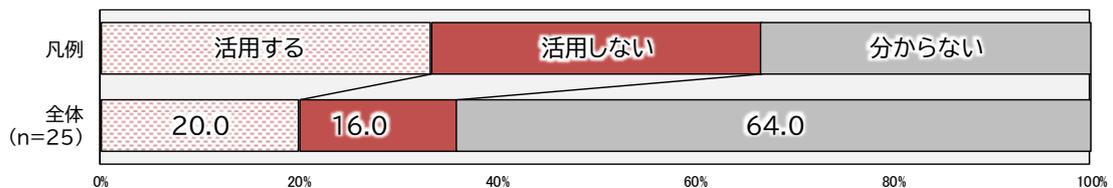
n=25	度数	%
知っていた	5	20.0
知らなかった	20	80.0
合計	25	100.0



◆生ごみ堆肥化機材等（電動生ごみ処理機や設置型コンポスト容器など）を購入する市民及び市内の事業者へ補助金を交付する事業について、8割の事業所が「知らなかった」と回答している。

設問 13 今後、あなたの事業所で生ごみ堆肥化機材等を購入する際、市の補助金制度を活用しようと思いませんか。

n=25	度数	%
活用する	5	20.0
活用しない	4	16.0
分からない	16	64.0
合計	25	100.0

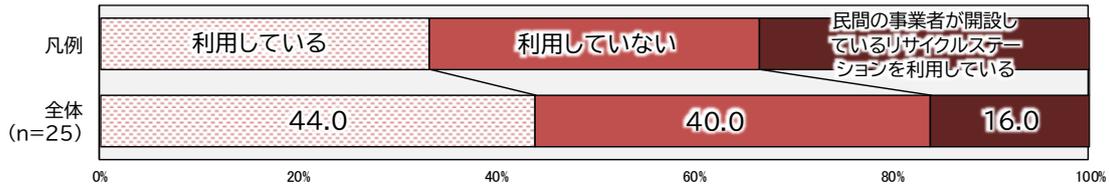


◆2割の事業所が、補助金制度を「活用する」と回答している。

その他

設問 14 あなたの事業所でリサイクル品目を出す場合、地域のリサイクル集積所または、リサイクルプラザを利用されていますか。利用されている場合、品目にも「○」をお願いします。

n=25	度数	%
利用している	11	44.0
利用していない	10	40.0
民間の事業者が開設しているリサイクルステーションを利用している	4	16.0
合計	25	100.0

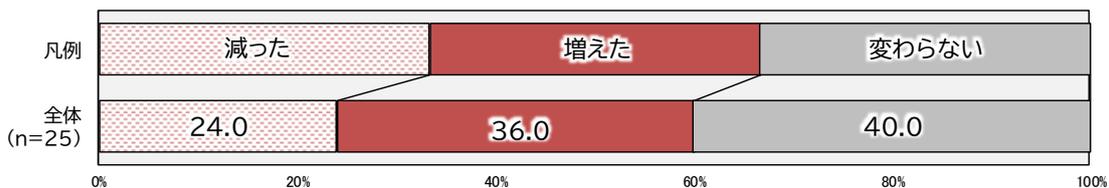


	地域のリサイクル集積所またはリサイクルプラザを「利用している」と回答した11件の利用している品目		民間のリサイクルステーションを「利用している」と回答した4件の利用している品目	
	度数	%	度数	%
缶	5	45.5	3	75.0
ビン	5	45.5	—	—
ペットボトル	4	36.4	2	50.0
古布・古着類	2	18.2	0	0.0
紙類	1	9.1	1	25.0

◆約4割の事業所では、地域のリサイクル集積所または、リサイクルプラザを「利用している」と回答しているが、約2割の事業所では、「民間の事業者が開設しているリサイクルステーションを利用している」と回答している。

設問 15 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されていますが、移行前に比べてごみの排出量はどうなりましたか。

n=25	度数	%
減った	6	24.0
増えた	9	36.0
変わらない	10	40.0
合計	25	100.0



◆約4割の事業所では、移行前に比べてごみの排出量が「増えた」と回答しているが、約2割の事業所では、「減った」と回答している。

設問16 ごみ全般に関して、ご要望やご意見等ありましたら、記入してください。

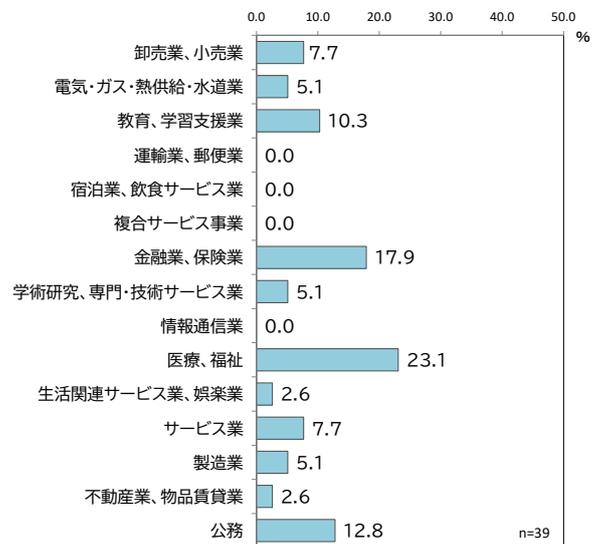
主な意見
事業所用ゴミ袋が高すぎる
家庭からのごみの持ち込みがなくならないため、家庭ごみの排出等についても検討してほしい

紙類を排出する事業所

回答者属性（回答数39）

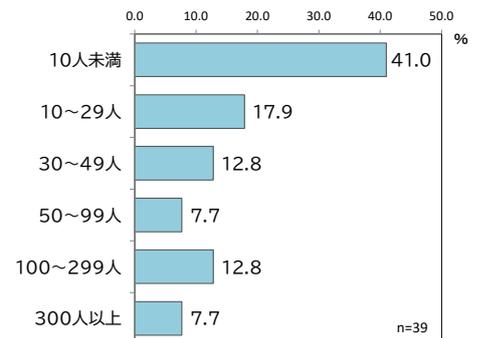
■業種

n=39	度数	%
卸売業、小売業	3	7.7
電気・ガス・熱供給・水道業	2	5.1
教育、学習支援業	4	10.3
運輸業、郵便業	0	0.0
宿泊業、飲食サービス業	0	0.0
複合サービス事業	0	0.0
金融業、保険業	7	17.9
学術研究、専門・技術サービス業	2	5.1
情報通信業	0	0.0
医療、福祉	9	23.1
生活関連サービス業、娯楽業	1	2.6
サービス業	3	7.7
製造業	2	5.1
不動産業、物品賃貸業	1	2.6
公務	5	12.8
合計	39	100.0



■従業員数

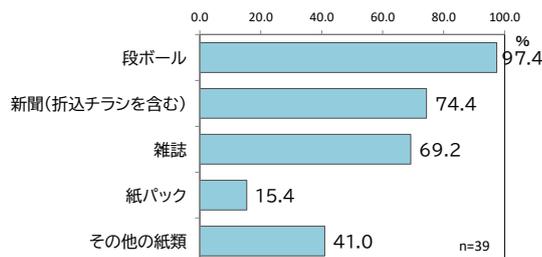
n=39	度数	%
10人未満	16	41.0
10~29人	7	17.9
30~49人	5	12.8
50~99人	3	7.7
100~299人	5	12.8
300人以上	3	7.7
合計	39	100.0



紙類のリサイクルの徹底について

設問1 あなたの事業所でリサイクルしている紙類を教えてください。(複数可)

n=39	度数	%
新聞(折込チラシを含む)	29	74.4
段ボール	38	97.4
雑誌	27	69.2
紙パック	6	15.4
その他の紙類(設問2の1~14などの紙)	16	41.0



◆紙類を排出する事業所のうち、6割を超える事業所では、分別がわかりやすい「新聞(折込チラシを含む)」「段ボール」「雑誌」をリサイクルに出しているが、「その他の紙類」は、5割を下回っている。

設問2 あなたの事業所では、どのような紙を「その他の紙類(新聞紙、段ボール、雑誌、紙パック以外の紙)」としてリサイクルに出していますか。(複数可)

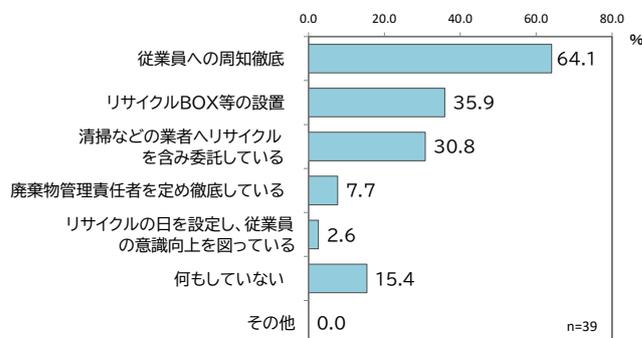
n=39	度数	%
リーフレット	16	41.0
紙袋	17	43.6
印刷されたプリント用紙(コピー用紙)	20	51.3
名刺サイズくらいの紙	11	28.2
封筒・はがき	14	35.9
トイレトペーパーの芯	6	15.4
カレンダー	11	28.2
ティッシュの空箱	14	35.9
チラシ	17	43.6
はし袋	2	5.1
タバコの空箱	3	7.7
包装紙	17	43.6
事務用品が入っていた箱	19	48.7
菓子などの食品の空箱	15	38.5
その他	2	5.1



◆その他の紙類の中で5割を超えているのは、「印刷されたプリント用紙(コピー用紙)」だけであり、それ以外の品目については、5割を下回っている。

設問3 あなたの事業所では「紙類」のリサイクルを促進するためにどのような取組みをされていますか。(複数可)

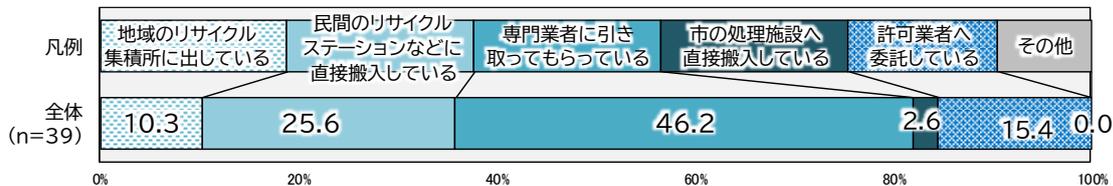
n=39	度数	%
従業員への周知徹底	25	64.1
リサイクルBOX等の設置	14	35.9
リサイクルの日を設定し、従業員の意識向上を図っている	1	2.6
清掃などの業者へリサイクルを含み委託している	12	30.8
廃棄物管理責任者を定め徹底している	3	7.7
何もしていない	6	15.4
その他	0	0.0



◆紙類を排出する事業所の約6割では、「紙類」のリサイクルを促進するため、従業員への周知啓発に取り組んでいる一方で、「何もしていない」と回答している事業所もある。

設問4 あなたの事業所では、リサイクルできる紙類をどのように処理していますか。

【全体】



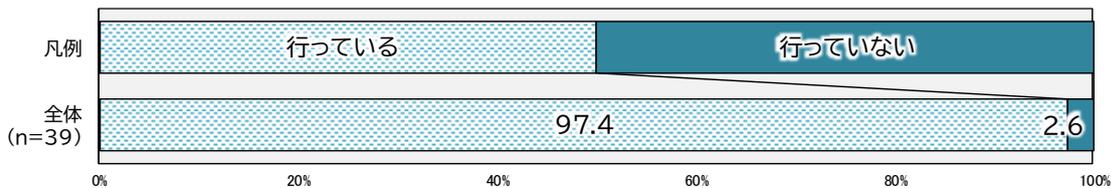
【業種別】

	合計	積地所に出している	民間のリサイクルステーションなどに搬入している	専門業者に引き取っている	市の処理施設へ直接搬入している	許可業者へ委託している	その他
全体	39 100.0%	4 10.3%	10 25.6%	18 46.2%	1 2.6%	6 15.4%	0 0.0%
業種別	卸売業、小売業	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	電気・ガス・熱供給・水道業	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	教育、学習支援業	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%
	金融業、保険業	7 100.0%	0 0.0%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%	1 14.3%
	学術研究、専門・技術サービス業	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	医療、福祉	9 100.0%	2 22.2%	3 33.3%	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%
	生活関連サービス業、娯楽業	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	サービス業	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
	製造業	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	不動産業、物品賃貸業	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	公務	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%

◆紙類を排出する事業所では、紙類の処理について、「専門業者に引き取ってもらっている」事業所が一番多い。

設問5 あなたの事業所では、機密文書の処理を行っていますか。

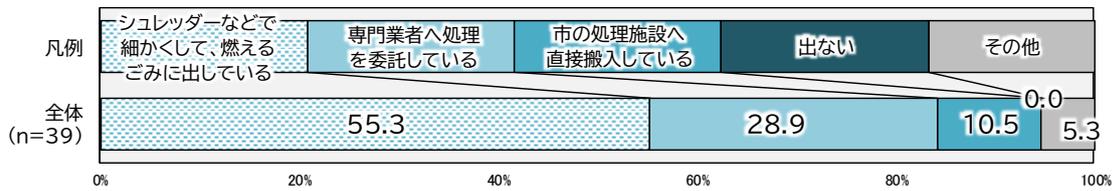
n=39	度数	%
行っている	38	97.4
行っていない	1	2.6
合計	39	100.0



◆紙類を排出する事業所のほとんどは、機密文書の処理を「行っている」と回答している。

設問6 設問5で機密文書を処理している事業所におたずねします。
あなたの事業所では機密文書をどのように処理していますか。

【全体】



【業種別】

業種別	ごみシュレッダーなどで燃える	専門業者へ処理を委託している	市の処理施設へ直接搬入している	出ない	その他
全体	38 100.0%	21 55.3%	11 28.9%	4 10.5%	0 0.0%
卸売業、小売業	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
電気・ガス・熱供給・水道業	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
教育、学習支援業	4 100.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
金融業、保険業	7 100.0%	4 57.1%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%
学術研究、専門・技術サービス業	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
医療、福祉	9 100.0%	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%
生活関連サービス業、娯楽業	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
サービス業	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
製造業	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
不動産業、物品賃貸業	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
公務	5 100.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%

◆機密文書を処理している事業所の約6割では、機密性を保持するため、機密文書をシュレッダーなどで細かく処理している。

ごみダイエットの推進

設問7 「燃えるごみを週3回以上出されている事業所の方」におたずねします。
1週間に「燃えるごみ」専用の指定袋を何枚使用していますか。

n=9	度数	%
7枚	1	11.1
13枚	1	11.1
18枚	1	11.1
57枚	1	11.1
70枚	1	11.1
125枚	1	11.1
150枚	1	11.1
300枚	1	11.1
402枚	1	11.1
合計	9	100.0

※無回答を除いて集計

設問7 週3回以上出している事業所の1週間に使用する「燃えるごみ」専用の指定袋の枚数	
回答数	9
最小値	7
最大値	402
平均値	126.89

◆紙類を排出する事業所で「燃えるごみを週3回以上出している事業所」では、「燃えるごみ」専用の指定袋を最大402袋使用している。

設問 8 「燃えるごみを週2回出されている事業所の方」におたずねします。
1週間に「燃えるごみ」専用の指定袋を何枚使用していますか。

n=23	度数	%
1枚	4	17.4
2枚	4	17.4
3枚	3	13.0
4枚	3	13.0
5枚	2	8.7
7枚	2	8.7
10枚	1	4.3
12枚	1	4.3
13枚	1	4.3
17枚	1	4.3
20枚	1	4.3
合計	23	100.0

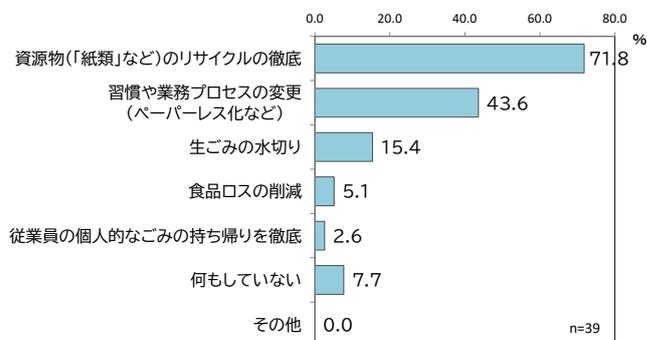
設問8 週2回出している事業所の1週間に使用する「燃えるごみ」専用の指定袋の枚数	
回答数	23
最小値	1
最大値	20
平均値	5.61

※無回答を除いて集計

◆紙類を排出する事業所で「燃えるごみを週2回出している事業所」では、「燃えるごみ」専用の指定袋を最大20袋使用している。

設問 9 あなたの事業所では、ごみを減らすこと又は有料指定ごみ袋の使用枚数を少なくするために、どのようなことを実施していますか。(複数可)

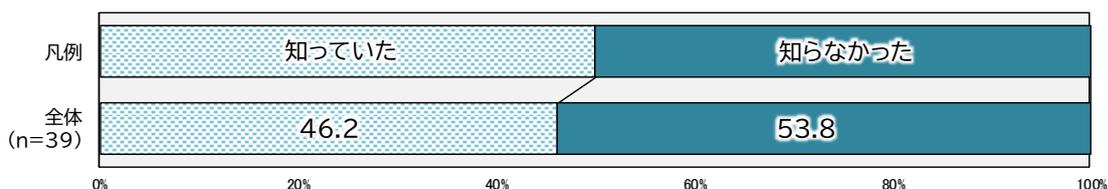
n=39	度数	%
資源物(「紙類」など)のリサイクルの徹底	28	71.8
食品ロスの削減	2	5.1
生ごみの水切り	6	15.4
従業員の個人的なごみの持ち帰りを徹底	1	2.6
習慣や業務プロセスの変更(ペーパーレス化など)	17	43.6
何もしていない	3	7.7
その他	0	0.0



◆紙類を排出する事業所の約7割では、ごみを減らすこと又は有料指定ごみ袋の使用枚数を少なくするために、「資源物(「紙類」など)のリサイクルの徹底」に取り組んでいる一方で、「何もしていない」と回答している事業所もある。

設問 10 大牟田市では、生ごみ堆肥化機材等(電動生ごみ処理機や設置型コンポスト容器など)を購入する市民及び市内の事業者へ補助金を交付する事業を実施していますが、ご存じですか。

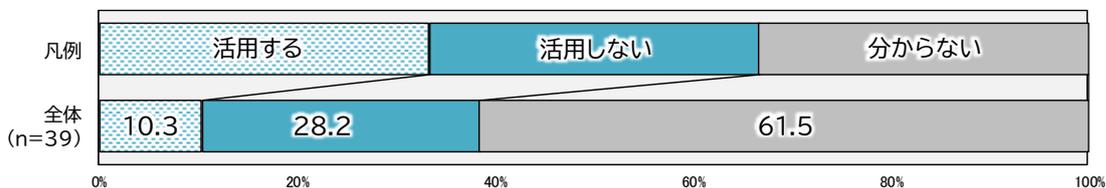
n=39	度数	%
知っていた	18	46.2
知らなかった	21	53.8
合計	39	100.0



◆生ごみ堆肥化機材等(電動生ごみ処理機や設置型コンポスト容器など)を購入する市民及び市内の事業者へ補助金を交付する事業について、約5割の事業所が「知らなかった」と回答している。

設問 11 今後、あなたの事業所で生ごみ堆肥化機材等を購入する際、市の補助金制度を活用しようと思いますか。

n=39	度数	%
活用する	4	10.3
活用しない	11	28.2
分からない	24	61.5
合計	39	100.0

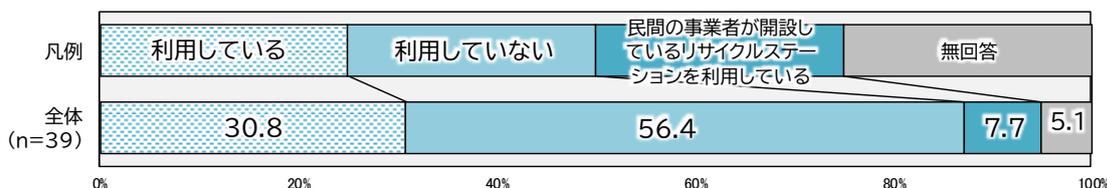


◆約1割の事業所では、補助金制度を「活用する」と回答しているが、約3割の事業所は「活用しない」と回答している。

その他

設問 12 あなたの事業所でリサイクル品目を出す場合、地域のリサイクル集積所または、リサイクルプラザを利用されていますか。
利用されている場合、品目にも「○」をお願いします。

n=39	度数	%
利用している	12	30.8
利用していない	22	56.4
民間の事業者が開設しているリサイクルステーションを利用している	3	7.7
無回答	2	5.1
合計	39	100.0

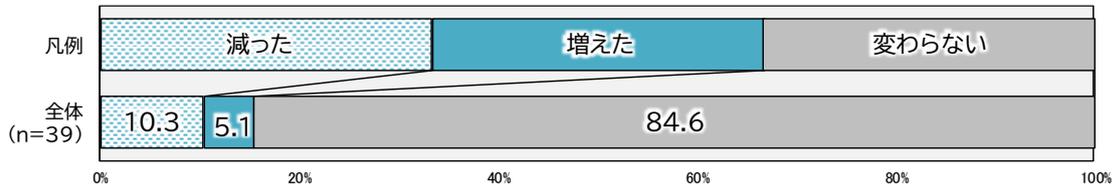


	地域のリサイクル集積所またはリサイクルプラザを「利用している」と回答した12件の利用している品目		民間のリサイクルステーションを「利用している」と回答した3件の利用している品目	
	度数	%	度数	%
缶	5	41.7	1	33.3
ビン	6	50.0	—	—
ペットボトル	3	25.0	2	66.7
古布・古着類	0	0.0	0	0.0
紙類	3	25.0	1	33.3

◆約3割の事業所では、地域のリサイクル集積所または、リサイクルプラザを「利用している」と回答しているが、約1割の事業所では、「民間の事業者が開設しているリサイクルステーションを利用している」と回答している。

設問 13 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されていますが、移行前に比べてごみの排出量はどうなりましたか。

n=39	度数	%
減った	4	10.3
増えた	2	5.1
変わらない	33	84.6
合計	39	100.0



◆約1割の事業所では、移行前に比べてごみの排出量が「増えた」と回答しているが、一部の事業所では、「減った」と回答している。

設問 14 ごみ全般に関して、ご要望やご意見等ありましたら、記入してください。

主な意見
ゴミ袋が破れやすい
一人一人がこのまま廃棄物が増加するとどうなるかを考えることが大事
今の埋め立て地が満杯になると新たな場所が必要となり環境にも悪い